

ニードフル防草シート 施工要領書

対象品番 JY-1R, JY-3S, デュアルガード

1

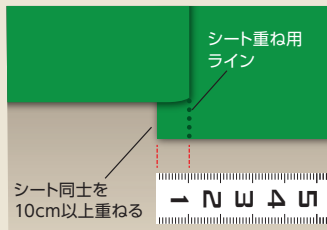
草刈り・整地



- 雑草を根元から刈り取ります。
- 石などの突起物を取り除いて下さい。
- 平らに整地し、地面が柔らかい場合は転圧を行ってください。

2

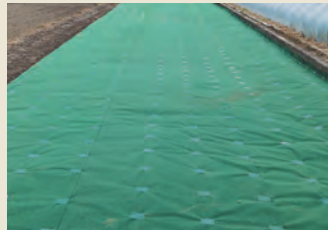
シートの敷設 シートの重ね



- 端部から10cmにあるシート重ね用の目印を参考に、シート同士を10cm以上重ねてください。
- 風による捲れを抑えるために、土壌などで適宜固定を行いながら敷設してください。

3

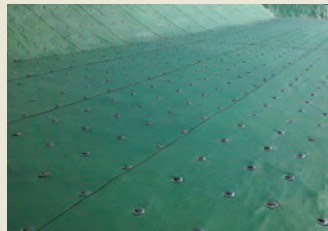
アンカーピン 固定



コの字ピン

Φ4 × 35 × 200 + JYテープ (カット)

- 50cm間隔のピン打設目印を目安にピン固定を行ってください。
- ピン固定時はJYワッシャーまたはJYテープ (カット)・接着テープVF450 (カット) を使用してください。



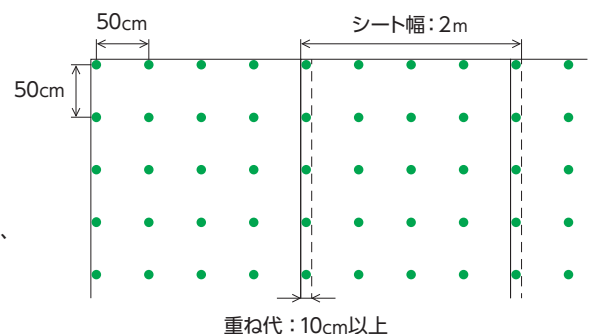
L型ピン

Φ9 × 200 + JYワッシャー

- 50cm間隔のピン打設目印を目安にピン固定を行ってください。
- ピン固定時はJYワッシャーを使用してください。
(JYワッシャーの代わりにJYテープ (カット) も使用可能です)

アンカーピン打設 (推奨例)

- 地盤に応じてピンのサイズは選んでください。
- 50cmピッチでの打設間隔を標準とします。
- 法面や風の強い場所等、シートがズレたりはがれやすい場所は、必要に応じて打設間隔を短くしてください。



4

シートの重ね部 処理

接着シーリング使用例

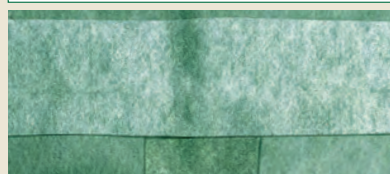


- ピン固定を行った50cmの間を接着シーリングで接着してください。

注1 接着シーリングは速乾性ではないためピン打ち等でシート同士のズレなど負荷がかからない最終工程で実施することをお薦めします。

注2 接着シーリングはφ5~6mm、1列塗布として約10m/本を目安としてください。

JYテープ or 接着テープVF450使用例



※写真はJYテープ

- 重ね代の接続はJYテープまたは接着テープVF450で貼り付け、ローラーで圧着してください。

注1 重ね部からの雑草繁殖防止と風対策のために隙間なく貼り付けてください。

注2 貼り付けは、ピン打設等でシート同士のズレなど負荷がかからない最終工程での実施をお薦めします。

左記、使用例以外に熱風溶着機を用いた「熱溶着接続」も可能です。

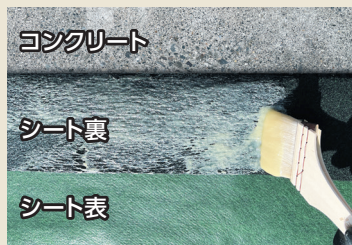
注1 火気の使用は厳禁。

注2 熱溶着接続を実施の場合は弊社営業所担当者へご連絡のうえ施工方法等をご相談ください。

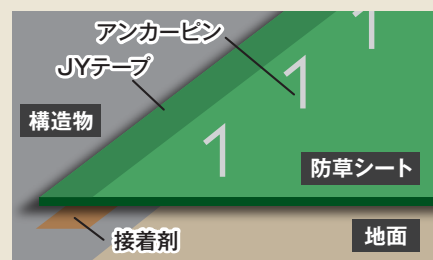
5

端部固定

(コンクリートへの接続)



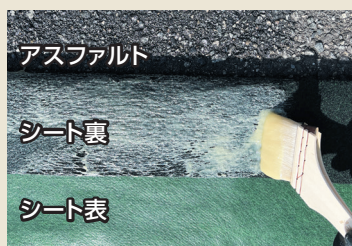
- 構造物の表面を清掃し、プライマー(下塗り剤)を塗布します。
- プライマーの乾燥後、シートと構造物の両方に接着剤を塗布して貼り合わせ、ローラー等で十分に圧着します。
- 圧着後、JYテープ・接着テープVF450で貼り付けてください。



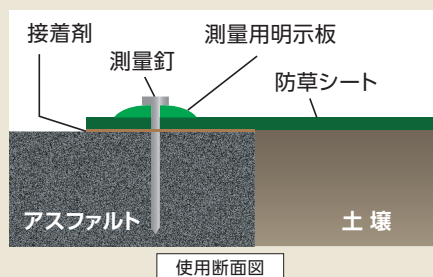
6

端部固定

(アスファルトへの接続)

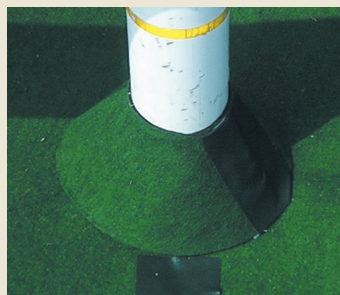


- 構造物の表面を清掃し、プライマー(下塗り剤)を塗布します。
- プライマーの乾燥後、シートと構造物の両方に接着剤を塗布して貼り合わせ、ローラー等で十分に圧着します。
- 圧着後、測量用明示板および測量釘を用いて固定してください。



7

支柱周り



or



- 支柱の位置に合わせて、防草シートにハサミで切り込みを入れます。

- 支柱の上部でタイングシートを隙間なくきつく絞って面ファスナーで留め、そのまま根元までスライドさせて下げます。
- タイングシートの合わせ目と、防草シートの切り込み部分の両方を、JYテープ・接着テープVF450でしっかりと塞いでください。
- 必要に応じて接着剤を併用ください。

- 支柱の周囲の隙間を変性シリコンコークで間詰めして塞いでください。



本社・工場 〒595-0013 大阪府泉大津市宮町12番23号 TEL.0725-32-5381

■札幌営業所 TEL.011-232-5241
 ■仙台営業所 TEL.022-242-0810
 ■東京営業所 TEL.03-3861-1371
 ■名古屋営業所 TEL.052-959-2601

■大阪営業所 TEL.0725-32-5382
 ■広島営業所 TEL.082-532-7795
 ■福岡営業所 TEL.092-471-5252



<https://www.geo-tanaka.co.jp>